

令和4年度事業報告書

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の猛威に晒されつつも、三鷹市シルバー人材センターとしても社会的な流れの中でWithコロナへの歩みを着実に進めた1年となりました。

コロナ禍にあって、活動が制限された部分もありましたが、請負事業が順調な伸びを見せると共に、昨年度伸び悩んだ派遣事業も回復傾向に転じ、第4次中期計画の目標を達成し、過去最高の契約実績を上げることができました。

請負事業と派遣事業を合わせた契約実績は、前年度比 4,753 万円 (7.5%) 増の 6 億 8,288 万円で、第4次中期計画の目標額である 6 億 7,500 万円を超えました。内訳を見ますと、官民共に前年度比で大幅な伸びとなっており、コロナ禍からの回復とこれまでの地道な就業開拓が実った結果となりました。

会員数については、前年度から 4 人増の 1,735 人と微増にとどまり、第4次中期計画目標値の 1,760 人には届きませんでした。これまでで最も多い会員数となり、入会率(60歳以上の人口に占める会員数の割合)も都平均の 2.1 を上回る 3.3%と高い水準を維持することができました。昨年度に引き続き、女性向け入会説明会を複数回実施するなど、女性会員の拡大にも取り組み、こうしたことの成果の現れと捉えています。

このように、令和4年度の実績を振り返ると、Withコロナへの取組により、業績面ではほぼコロナの影響は無くなったと言える状況ですが、今般のコロナ禍の経験は、当センターにも様々な教訓を与えてくれました。この教訓を活かし、これからのセンター運営においてもより一層臨機応変に対応できる体制を構築してまいります。

なお、当センターの様々な事業の取組に際し、令和4年度も三鷹市、東京都、国からご理解をいただき、多大なご支援をいただいたことに対し改めて深く感謝いたします。

1 事業概要

令和4年度における三鷹市シルバー人材センターの事業概要は、次のとおりです。()内は前年度の実績

[会員数]	1,735 人 (1,731 人)
男性	1,040 人 (1,045 人)
女性	695 人 (686 人)

[請負事業実績]

受託件数	10,366 件	(10,326 件)
契約金額	6 億 3,568 万円	(5 億 8,987 万円)
うち公共事業	1 億 9,879 万円	(1 億 8,484 万円)
うち民間事業	4 億 3,689 万円	(4 億 0,503 万円)
配分金	5 億 5,053 万円	(5 億 0,751 万円)
就業延人員	207,766 人	(203,651 人)
就業実人員	1,288 人	(1,372 人)

[派遣事業実績]

契約件数	78 件	(65 件)
契約金額	4,720 万円	(4,548 万円)
就業延人員	7,154 人	(7,886 人)
就業実人員	99 人	(84 人)

[請負・派遣事業実績合計]

契約金額	6 億 8,288 万円	(6 億 3,535 万円)
就業実人員	1,334 人	(1,403 人)
	※請負・派遣事業との重複者を 1 人とする。	
就業率	76.9%	(81.1%)

前年度(令和3年度)の実績と比べますと、会員数は4人(0.2%)の増、請負事業の受託件数は40件(0.4%)の増、契約金額は4,581万円(7.8%)の増で、内訳は公共事業で1,395万円(7.5%)の増、民間事業では3,186万円(7.9%)の増でした。配分金は4,302万円(8.5%)の増となり、コロナ禍の落ち込みから回復することができました。

労働者派遣事業の実績は契約件数13件(20%)の増、契約金額は173万円(3.8%)の増となりました。

また、請負事業と派遣事業の実績の合計は、4,753万円(7.5%)の増、就業実人員(請負と派遣双方で就業している場合は1人とする)は、69人(4.9%)の減で、就業率は4.2ポイントの減となりました。

2 事業報告

(1) 就業開拓提供事業

ア 第4次中期計画の重点目標の第1番目、「会員満足度の向上」の主要施策として掲げられている「就業機会の拡大」については、Withコロナとは言え、まだまだ直接訪問活動をすることは憚られたことから、東京しごと財団の支援を受けながら保育園の仕事の

開拓に向け、保育セミナーの開催、園長会でのプレゼンテーションや保育園訪問と新たな試みに着手し、コロナ禍でも可能な範囲で業務拡大に努めました。また、大学の学生会館受付管理業務や清掃業務の拡大など新たな受注もあり、大幅な実績増につながりました。

そのほか、魅力あるセンター作りの一環として、就業先の職群班化に取り組み、就業の質の向上とよりよい就業体制の構築に努めました。

イ 介護予防・日常生活支援総合事業では、年度後半からコロナ禍からの回復が進み、新規の契約が増加し、これまでの減少傾向に歯止めがかかりました。契約件数はほぼ前年度同数となり、契約金額は約6%の増加となりました。

ウ 適正就業について、今年度も就業現場の確認や契約書の内容精査を行い、法令の遵守に努めました。

(2) 普及啓発事業

ア 会員増強については、出前入会説明会の実施は見合わせたものの、入会説明会はコロナ以前と同様に開催しました。更に1月と3月に女性向け入会説明会を開催し、女性会員拡大に向けた取組を強化しました。

イ 会員の丁寧で質のよい仕事ぶりや市内一斉清掃ボランティア活動など、社会奉仕活動への取組等を通して地域の住民、事業所等の信頼を確保し、シルバー活動の普及啓発に努めました。

ウ センター活動の広報として「広報みたか」等市の刊行物によるPR、パンフレットの配付、会員によるチラシの市内配付などを行いました。令和4年度は、シルバー人材センター展や生涯学習教室の作品展を駅前コミュニティ・センターで行い、多くの市民にご来場いただきました。

エ 地域班独自の活動として、公園清掃や野川・仙川などの地域清掃ボランティアを実施し、また児童等の登下校に際し安全を見守る安全安心パトロールに多くの会員が参加するなど、それぞれ地域に密着した活動を積極的に行いました。

オ 市民の行事として定着している「三鷹阿波おどり」は3年ぶりに開催されましたが、シルバー連は練習時間が取れなかったことなどもあり参加を見合わせました。また、「三鷹市民駅伝大会」は例年どおり楽走会のみなさんが参加し、シルバーパワーをアピールしました。

カ 機関紙「かけはし」「事務局ニュース」の発行、地域班長会での理事会報告など、会員に対しセンターの活動や会員活動、就業情報の提供に努めました。

キ 植木班では、シルバー活動を広く市役所や公共施設を訪れる市民のみなさまにアピールするため、恒例の正月の門松作りを実施し、市役所、介護老人保健施設に設置しました。

(3) 研修・講習事業

センター独自の研修の実施や東京しごと財団主催の研修への参加により就業・社会奉仕活動等に必要な知識や技能の修得を目指しました。

また新入会員研修会においては、センター活動や安全就業の理解に努めました。

地域班長・連絡員会議については 100 名を超える人数になることから、引き続き配付物を取りに来ていただく形をとり、コロナウイルス感染拡大の防止を図りました。

ア センター独自の研修事業		参加者数
安全リーダー研修	2 回	61 人
ホームヘルパー研修	4 回	126 人
新入会員研修（動画視聴等）		217 人
植木班定例研修	1 回	11 人

イ 合同研修（第 5 ブロック）

安全就業のつどい「安全・健康講話」		
	10 月 25 日	7 人

ウ 連合及び全シ協主催研修

保育セミナー		26 人
生活支援サービス研修（家事援助）		2 人
包丁研ぎ研修		2 人

(4) 調査研究事業

ア 各部会、委員会、職群班等が、第 4 次中期計画の円滑な推進に向けた進捗管理と令和 5 年度活動計画の策定を行いました。

イ 適正就業を堅持するため、各種業務内容の確認や契約内容の見直しなどを行って、法令遵守に努めました。

(5) 相談事業

- ア コロナ禍の中でも入会を希望する高齢者に対し、換気の励行や人数制限など感染防止対策を図りながら、センター施設内で毎月2回の入会説明会を実施しました。また、随時、市民及び会員を対象とした就業相談を実施しました。
- イ 未就業の会員の就業を促進するため、ホームページの就業情報の更新に努めた他、就業説明会を3回実施すると共に、センター玄関脇の掲示板に就業会員募集案内を掲出して会員への就業情報の提供に努めました。

(6) 安全就業推進事業

- ア 東京都全体として、ここ数年、事故発生件数が非常に多い状態が続いています。安全は、高齢者が就業等の活動を通じて社会参加をするうえで最も重要な課題となっています。当センターとしても、高齢者が健康で安心して就業等の活動に専念できるよう、安全管理委員会と安全リーダーを中心に、安全意識の徹底と事故防止に努めました。

令和4年度の事故の発生件数は19件で、前年度から1件減少しました。就業中の傷害事故は前年度から半減して4件でした。就業途上の傷害事故は前年度5件から6件になり、このうち5件は自転車による事故でした。また、賠償事故が昨年度の7件から9件と増加しており、このうち4件が植木剪定に係る就業中の賠償事故でした。植木班と連携し、原因の分析等を通して事故の発生防止に努めました。

- イ 「健康・安全の日」、「重篤事故防止の日」の就業会員全員を対象とした安全ワッペンの着用による安全意識高揚の取組や、安全就業のしおり・安全就業基準の配付、安全標語の募集、安全リーダー研修の実施等により、事故防止の意識啓発に努めました。
- ウ コロナウイルス感染防止のため、安全管理委員会による就業現場への安全パトロールは、対象職場を絞って行いました。また、安全ニュースを通じ、事故再発防止に向け、実際に起きた事故の分析や、センターにおける安全就業に向けた取組の情報提供を行いました。また、とくに重篤事故の防止に配慮し、就業中の会員の安全に対する意識や実際の安全管理行動を確認すると共に、会員の安全就業の徹底に努めました。